

回 覧

令和7年5月14日に開催された精華地域地区懇談会議事要旨です
精華地域の皆さまにお知らせいたします。

1 テーマ 令和7年度主要事業について

2 おもな意見

- ①(事前質問)多治見市には精神保健福祉相談員が不在です。配置をお願いします。

回答(福祉課)

精神保健福祉相談員は令和6年5月まで1名、令和7年1月～3月に1名在籍していました。現在(懇談会当日)は不在のため募集中です(令和7年6月配置済)

- ②(事前質問)精神疾患について同じ悩みを持つ家族会があります。市から精神疾患について苦悩されている方へ家族会を紹介していただきたいです。

回答(福祉課)

福祉課で個別にご相談いただいた方へ家族会を紹介させていただくことは可能です。

- ③ 市長説明の中で説明された新しい働き方とは具体的にどのようなことですか。

回答(新庁舎建設事務局長)

デジタル化やDX化を踏まえて、他部署間の連携が取りやすい執務環境を整備し、市民サービスの向上につなげていくものです。

- ④ 国道248号線が毎日渋滞しています。解消に向けて国への要望等はどのように行っていますか。

回答(市長)

道路交通計画などを説明し、地元選出の県議会議員の活動に期待するとともに管理者である岐阜県へ要望活動を行っています。

- ⑤ 2年前に個別避難計画書を町内で作成しました。町内会も人が少なくなる状況で計画書はいつまで有効ですか。また町内会がなく、民生委員が不足している地域では災害発生時どの機関と協力していく予定ですか。

回答(企画部長)

個別避難計画書作成は令和5年度から今年度まで市内全域で作成を進めています。来年度以降自治会に協力を依頼しながら定期的な更新をしていく予定です。町内会がなく、民生委員が不足している地域では地縁の方や団体などに協力を依頼していきます。

- ⑥ 市長説明資料のふるさと納税の伸び率を表したグラフについてプラスな部分だけでなく、マイナスの部分も記載、説明するべきではないでしょうか。

回答(都市計画部長)

多治見市民が他市町村にふるさと納税をする額は年間約8～9億円です。この金額とふるさと納税で市に入ってくる金額を比べると、出ていくお金が多いですが、国からの地方交付税を合わせると黒字になっています。

- ⑦ 精神疾患の娘がいますが、家族が悩みを相談できるコミュニティに入ったことで薬や病院の紹介をしてもらい、退院することが出来ました。コミュニティが機能することで長期入院を防げる場合もあるのでぜひ市でも相談員を配置して適切な助言をいただける環境を作りたいです。また可児市では月2回専門相談会が開催されています。多治見市でもそうした取り組みをお願いします。

回答(福祉課長)

精神疾患をお持ちの方への支援は、市単独ではなく、東濃圏域の福祉、保健、医療等の関係機関が連携し取り組んでいます。

- ⑧ 町内会を抜けていく人が多くいます。市としてこういった形がいいのかモデルを示してください。

回答(くらし人権課長)

年間を通じて区長会と意見交換を実施しています。

その中でこれまで市役所からお願いして選出いただいていた委員を減らしたり、負担を減らす取り組み等を行っています。

地域力を専門にした職員も在籍しているので不安な場合はくらし人権課へご相談ください。

- ⑨ プラティ多治見の駐車料金が1時間無料な点を最近知りました。知らない人も多くいると思うのでわかりづらい駐車場の入口を含めてPRしてください。

回答(市長)

プラティ多治見は民間業者のため市として、積極的にPRすることは難しいですが、いただいた意見をプラティ側へ伝えます。

- ⑩ 東濃西部広域3市広域ごみ焼却施設について適地選定をした過程がわかるようにホームページ上に公開してください。また市内で候補地を1カ所とした理由も併せて公開してください。

回答(くらし人権課長)

ホームページ上での公開は要望として承ります。

候補地の選定は幹線道路からのアクセス、規制の少なさなどでゾーンを決定し、各市の候補地と比較した上で、面積、用地取得が容易かどうか、災害危険区域ではないか等複数の項目から総合的に判断しました。

- ⑪ 多くの自治体で人口減少への対策を実施していますが、他市の人口減少対策でモデルとしている政策はありますか。また市の政策を教えてください。

回答(企画部長)

以前から実施していた移住定住補助金に加え、駅周辺の遊休地の流通を促す補助金、古くなった家を壊して土地を売る方への補助金を今年度実施予定です。2年後には大学誘致で人口が増加する見込みですが、こうした活動も人口減少対策として実施しています。

- ⑫ 昨年開催された国際陶磁器フェスティバルは何を基準に成功したと言えますか。

回答(市長)

今回過去最多の国と地域から応募があり、世界的なコンペティションとして認知されていると考えています。

美濃焼の文化を市内外に発信することができ、会期を無事に終えられたことを含めて成功したと評価しています。